

# 『十勝川西長いも』

～攻めの農政を実践する（帯広市）～

平成18年11月10日、十勝管内の8つのJAの特産品である「十勝川西長いも」が、特許庁の「地域団体商標」の第1号として登録されました。

十勝では寒暖の差が大きく、きめ細かく真っ白な肉質と粘りのある長いもが育ちます。栽培は、約40年前に帯広市川西町を拠点に始まりましたが、その後、作付面積を次第に拡大させ、JAや市町村の枠を超えた広域的な供給体制により安定生産を実現しています。現在は、この品質と安定生産が市場で評価され、地域のブランドとして確立されています。

この産地形成には、畑地帯総合整備事業によって進められた農地の基盤整備（暗渠排水などの排水改良）が大きく貢献しているのです。

## 【暗渠排水の効果】

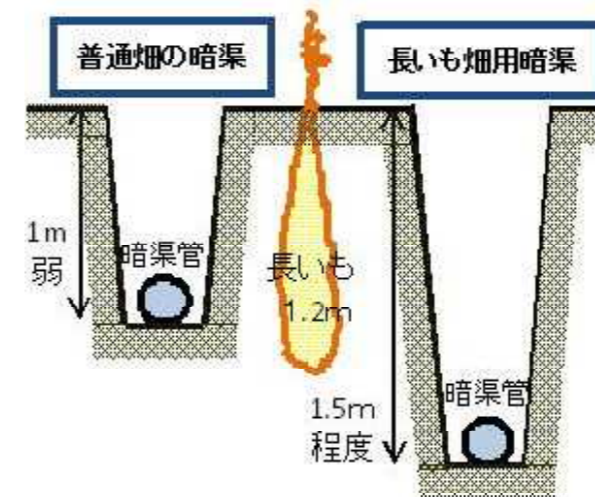
- その1 長いもは、地下120cmまで伸びる作物です。このため、水はけを良くすることによって根腐れが起きにくくなり、品質も収穫量も向上しました。
- その2 水はけを良くすることによって、作付地を拡大し、安定生産が可能となりました。

※ 長いもは、地下120cmまで伸びる作物です。一般的な畑作物では、地下1m程度の深さに暗渠管を設置しますが、長いも畑では、1.5m程度の位置に設置します。

## 【畑地帯総合整備事業の主な整備工種】

- 明渠排水 排水路を大きくするなど、水はけを改善し、周辺農地の湿害を解消します。
- 暗渠排水 地下水位の低下や地表水の水はけ向上により、収量や品質の向上を図ります。
- 土層改良 畑に良質土を搬入して、表土厚さの確保や土壌の改善を行います。
- 農道 道路を整備して、農産物の品質向上や流通の合理化を図ります。

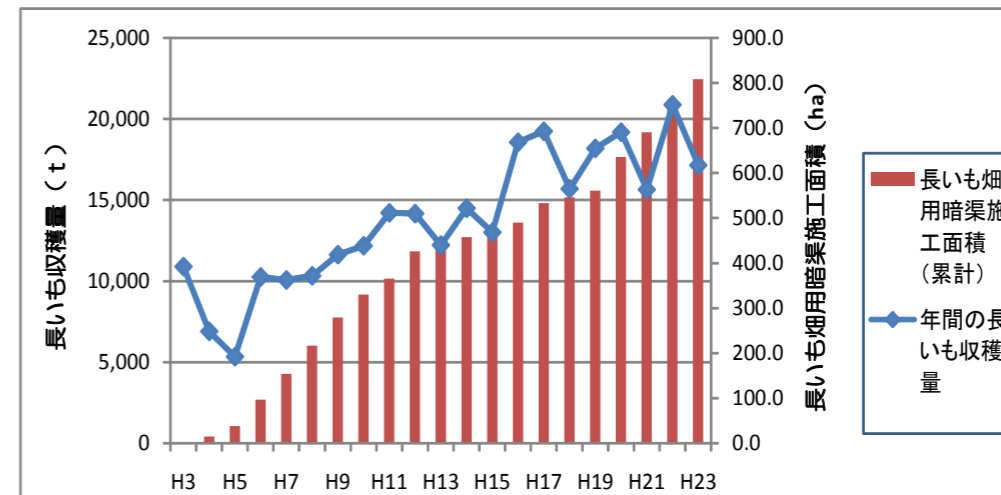
### 暗渠排水の断面比較



### 暗渠排水工事状況（埋め戻し材料の投入）



### 長いも畑用暗渠施工面積と収穫量の推移



◆平成23年度の「十勝川西長いも」の収穫量は、17,150トン。施工面積（累計）は、808ha。

■長いも産地化に成功した要因の一つとして、このような地道な畑地帯総合整備事業などによる農地の基盤整備があったのです。

### 産地の取り組みが認められる

帯広市川西長いも生産組合  
2006年度 第36回日本農業賞  
「集団組織の部」で大賞受賞



2007年3月17日 東京NHKホール

帯広市川西長いも生産組合  
2007年度(第46回)農林水産祭  
「天皇杯」を受賞

